



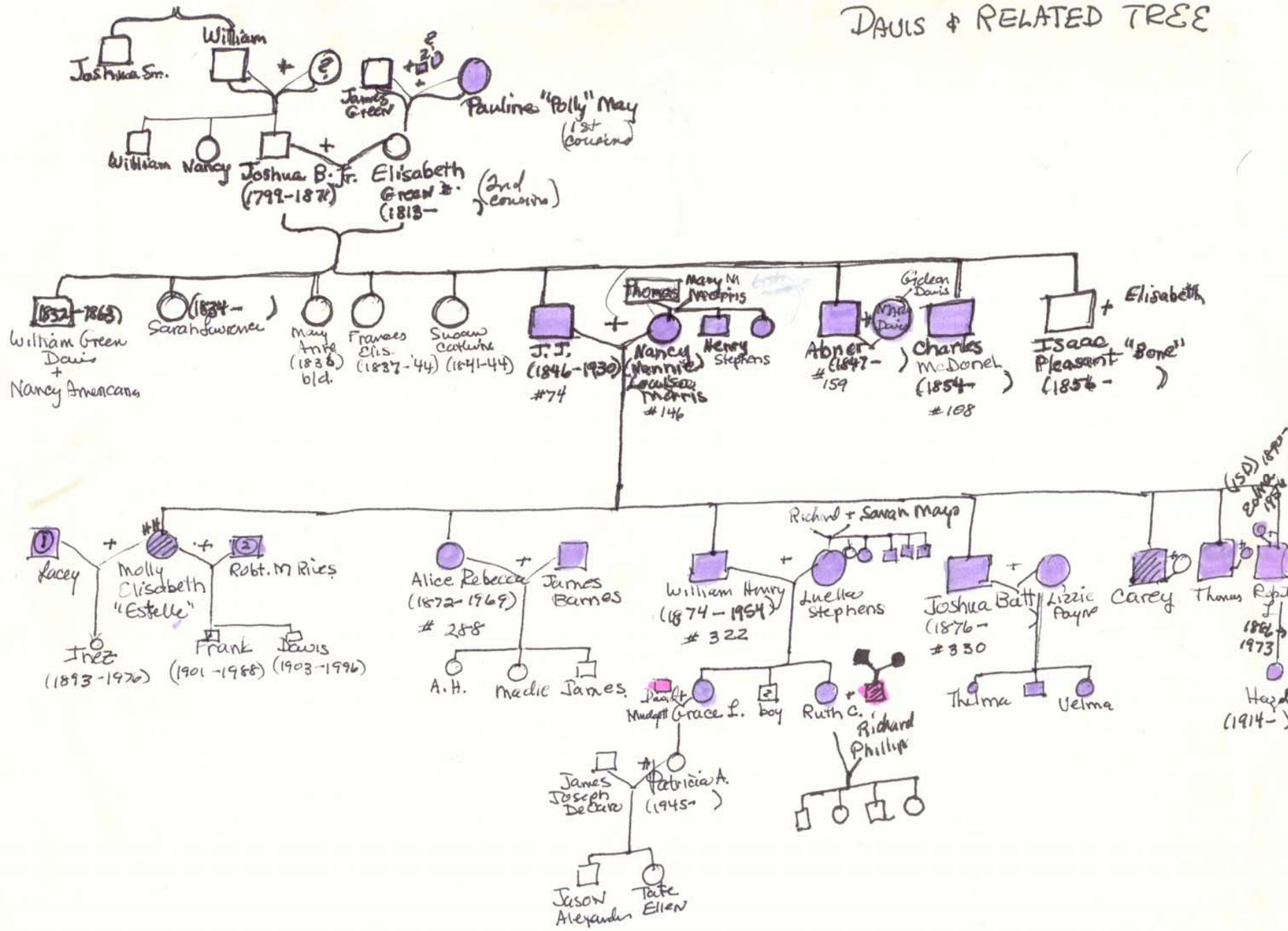
# 聴者が抱く聴覚障害者に 対するイメージと実態

## 講師

Patricia Mudgett-DeCaro MS/CA

PENインターナショナル  
2008年夏季リーダーシップ研修会  
英国イーストサセックス、ハーストマンスー城

# DAVIS & RELATED TREE





# 祖父、大叔父、両親、叔父

---

- 学士号、修士号、博士号取得
- 教師、ギャロデット大学学生部長、カウンセラー局長
- 州、全国レベルでのろう協会役員



# その意味とは？

---

聴覚障害者にできないことはなく、  
出来る事をみてきた！



# 雇用障害種類

- 環境
  - 物質的、また構造的な物: 電話、火災報知器
- 態度
  - 現実のもの、あるいは想像上のもの
  - カウンセラー、雇用者、両親、教師、  
そして他の聴覚障害者の



# 聴覚障害者コミュニティーの話

- 社会の障害と制限

私の父、Dave Mudgettは重度の聴覚障害で、1929年にギャロデット大学から学士を取得し、その後、イリノイ大学に進み、支援サービスはまったくなしに修士号を取得しました。終了時、アドバイザーに博士号に進むよう勧められました。もしそうすれば、父は全くの聴覚障害者で博士号を持つ最初か二番目になったのでしょう。でも、父は「それに何の意味があるのだろう。私は聴覚障害者だから、教師以上のものにはなれない」と言って、辞退しました。



# 聴覚障害者のコミュニティー (続き)

---

- 聴覚障害者は、聴者の世界でうまく生きていく手助けになった情報、経験、助言を分かち合う



# スウェーデンでの調査



- 1999年James DeCaro 博士と Patricia A. DeCaro による



- 態度の調査
  - 両親
  - 教師
  - 聴覚障害者コミュニティーの指導者



# 18職種

---

- 小売店員
- ホテル支配人
- 医者
- 大学講師
- ドリル工
- トラック運転手
- 建築家
- コンピューター技師
- コック
- 保母
- 機械工
- 製図家
- 仕立て屋
- 大工
- 会計士
- 鑄物工
- 農家
- 靴屋



# アクティビティー

---

- 配ったプリントで、聴覚障害者が試すことを勧めない職業に丸をつける
- どのような種類の障害があるか
- (態度または環境)



# スウェーデンでの調査結果

---

## リストから選ばれた職業

両親、教師

- 医者

- ホテル支配人

- 小売り店員

- 大学講師

聴覚障害者コミュニティー指導者

- 医者

- ホテルの支配人



## 討論

---

- 「選ばれた」職業の特徴
  - コミュニケーションの必要性
  - 一般大衆との交流が重要
    - 一般大衆には健聴者も聴覚障害者も含まれる



# 討論：スウェーデンでの調査

---

- 聴覚障害者の指導者は言う
  - 大学講師は手話通訳を使う
  - 小売り店員はバディー方式(二人一組)なら可能
  - 医師を推薦しない理由は  
「全国でも、ごく少数の聴覚障害の医師を支えるだけしか聴覚障害者はいない」  
(聴覚障害の専門職は、聴覚障害者の顧客しか持たないと仮定している)



# しかし...

---



Dr. Carolyn Stern

聴者の患者には手話通訳を使う聴覚障害の医師  
(米国には現在やく30人の聴覚障害の医師、  
歯科医がいる)



Roberto Wirth

NTID 卒業生、イタリア・ローマのスペイン  
階段を上ったところにある超一流ホテル、  
ハスラーホテルの社長、総支配人



## 職場での配慮

---

- 実際の必要条件を見極める
  - コミュニケーション
  - 安全
  
- 必要な改良策を提示する方法を考え出す



## 職場での配慮

---

改良策はどうやって  
仕事がなされるかを  
変えるもので、  
仕事の必要条件を  
変えるものではない



# 聴覚障害の電話取り付け工

使われた配慮のための手段：

- 名刺
- メモ帳と鉛筆
- 改造テスト道具
- 携帯用 TDD(文字電話)



# Jean Cordano

---

- 「面接の時、担当者が患者との接触について聞いてきました。私は『900床の病院で上手くやっていたのですから、90床の病院でできないはずがありません』と言いました。私の言う事はよく分かってもらいました。また、電話にどう答えるのかとも聞かれました。私は、研究室に電話が来た事を知らせる信号灯を取り付け、電話が来たら電話交換室に行ってメッセージを受け取るようにすることを提案しました。」



# Robert Menchel

---

- 「...私は、人々とどうやって付き合うか、またビジネスの世界にある障害のいくつかを、どうやって克服するかを学びました。...例えば、電話の問題。今日では、TDDやコンピューターがあり、この問題は比較的簡単に解決できますが、ただ上司にTDDを求めるのでは十分ではありません。それが正当であると証明しなければならないのです。」



## 改良策

---

- 改良策の多くは、聴覚障害者だけでなく、聴者の役にも立つものである

例: AT&T 聴覚障害者用の電話

字幕つきテレビ



## 「出来る事」観点

---

聴覚障害者は第一に、人間であって、聴覚障害は第二である

「出来ない事」ではなく「出来る事」の観点



# まとめ

---

- 私たちは皆、聴覚障害者には何が出来て何が出来ないかのイメージを持っている
- 「なぜ」なのかを、注意深く考えなければならぬ：それは、本当の障害なのか？
- 状況をどうやって改善したらよいか？



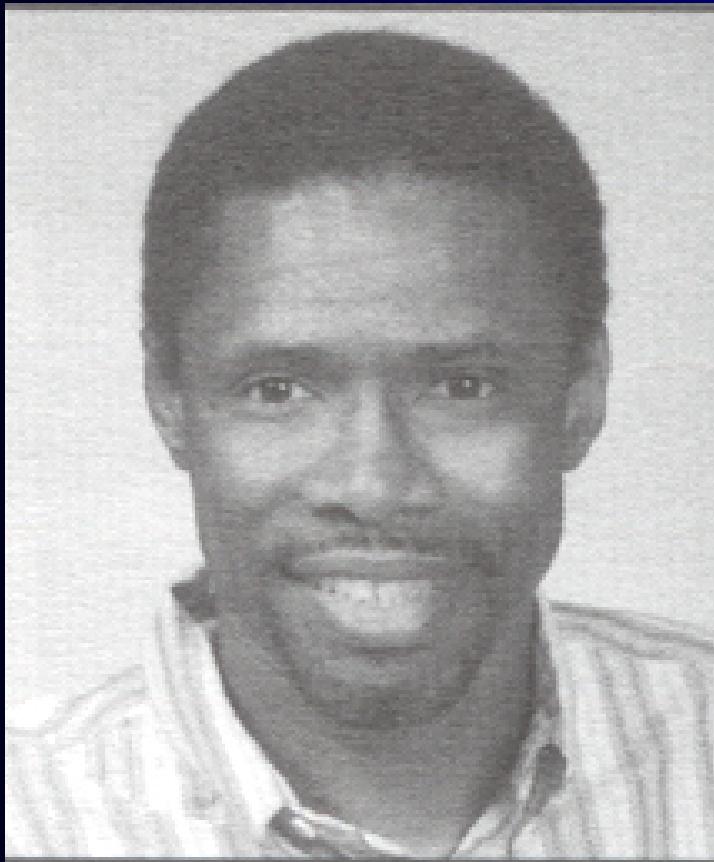
# グループ発表のための宿題

- 聴覚障害者には出来ないのでないかと思う職業をいくつか挙げる
- どうして出来ないのかを考え、どうしたらそれを変えられるかを考える
- 例えば、飛行機のパイロット、ダンサー、研究者．．．あなたはどう思うか？
- (<http://www.zak.co.il/deafinfo/old/restrictions.htm> をみてみよう)1



# John T. Reid

---



- 「JT」
- NTID の入学担当  
カウンセラー
- 「カエルの話」



# ビデオクリップの鑑賞 JT と力エルの話